

国土交通大学校 031107

共感できる内容であり、お話を聞きながら一人で頷いていました。特に企画構想力が疲弊し、海外で成功した事例をそのまま日本に導入（マネ）しようとしている国民のニーズがないままに、施策が始まっている」という部分です。正に「目からウロコ」でした。

講義でなるほどと思った一つは、テキスト内の日経の山田さんの箇条書きと、図解との対比、二つ目は文字の大きさ及び矢印の向きです。本当に図解でまとめることが非常にわかりやすく、またお互いの項目の関係が一目でわかるし、自分自身でわからないところが、見つけやすいと思いました。「あなたは今まで何をしてきたのですか？あなたはこれから何をしたいのですか？」という問いに答えられない自分が恥ずかしくなりました。

市民参加の市政を進める上で市民に行政の施策を理解、納得してもらう必要があり、プレゼンテーションの技術は行政マンとして重要になってきていると感じます。先生の作られた図ではかなり書き込みが多く、簡単に理解できるものなのか疑問に思いました。

講義を受けて自分のやりたいことをやって、それが世の中に受け入れられているのを感じ、率直にうらやましいと思いました。また、最後の方で話された「怕楽」については世の中のほとんどの人が気づいていない視点ではないかと思えます。「怕楽」だけでなく講義で話された内容のほとんどが今後重要度を増してくることを感じました。

今日の先生の話しを聞いてやっと内容が理解できましたので、今後やってみようと思いました。

私が想像していた講義と違い多少戸惑いがありました。先生の図解はわかりやすいですが、箇条書きがあつて図解になるのではないかと思いました。ただ、先生のおっしゃっていた、図解をすると文章がいかにかちかちになっているかというのが分かるという言葉に納得しました。言葉にめりはりがあり、聞きやすい講義でした。ただHPで満足せずにもっとわかりやすく「図解」絵と「図」ができることを望んでいます。先生の研究室、活気があり楽しそうですね！

「勉強してはいけない」ことをもっと早くから知っていたら、と思いました。子どもに「勉強しなさい」というのは全く無意味だったのだな」と気づき、今後は言わないようにしようと思います。先生のお話をぜひ教育改革うんぬん言っている人達の聞いてもらいたいと思いました。とてもいい講義をありがとうございました。

文章を羅列するより、図解法での表現方法が簡単明瞭であり、わかりやすかったです。HPで仕事、趣味等を載せ、自分自身をアピールされ、自分のことが好きなのだと思いました。また、そのために努力されていること、仕事に対してほこりに思っていること、それぞれ熱意が伝わってきました。

図解することにより明確な論理になることは理解できました。学生時代に教授の授業を受けてみたかったです。

図はかなり有効であることが理解できました。自分の仕事について「図で表してみなさい」といわれた直後に、あなた達の図には「市民」が入っていないと言われ、ものすごく反省しました。「誰のために」「何のために」を完全に失っていました。

自分がよく理解していないと人に話しても伝わらないのですね。

これからは箇条書きの文章は図に置き換えて考えることをしていきたいと思っています。